

令和3年度 すこやかメールマガジン 第773号【非認知能力を伸ばす親の愛】2月2日
配信

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

先週のメルマガで、非認知能力の話題にちょっとふれました。
今週は、さらに、もう少しお伝えしたいと思います。

点数や指標などで明確に認知できるものではない「非認知能力」に対し、「認知能力」とは、点数や指標などで測ることができる知的能力のことです。「認知能力を伸ばす＝賢い子に育てる」「点数が高い、IQが高いと賢い」というイメージは、普通に浸透しているイメージだと思います。

近年、幼児教育や非認知能力の重要性を語るうえで欠かせない「ペリー幼稚園プログラム」は、1960年代にアメリカのミシガン州で行われた調査です。経済的な理由で幼児教育を受けられない貧困世帯の3～4歳の子どもたち123人を半分に分けて、一方のみに週3回2年間、1日3時間のプリスクールに通ってもらい、以下の教育を実施することで、それが将来的にどう影響するかを長期的に調べたものです。

- ・毎日子どもたちに遊びを計画してもらい、くり返しその遊びを実行してもらう
- ・さらにその遊びをよりよくするためにどうすればいいか考えてもらう
- ・週に一度、教師による家庭訪問を行う

その結果、6歳時点でのIQ、19歳時点での高校卒業率、27歳時点での持家率、40歳時点での所得はいずれもプリスクールに通ったグループが大幅に高い傾向が現れていました。

○調査結果はこちらから見られます

【Kids Corporation】

https://www.kids-21.co.jp/childcare/non-cognitive_ability/

非認知能力を伸ばすことが、子どもの将来の人間形成や就職などにも大きく影響するということですね。まだまだ先のことは言え、子どもの将来を考えれば、伸ばしてあげられるなら伸ばしてあげたいと思うのは親心だと思います。

子どもの非認知能力を伸ばすために親ができることは、以下のようなことです。

- ①愛情を注ぐ（どんな時でも愛情をもって接するということ）
- ②子どもの好奇心を尊重する
- ③子どもの気持ちに共感してあげる
- ④自信を持たせてあげる

○詳しくは、こちらから見られます

【子どものみらいを切りひらくメディア みらいい】

<https://miraii.jp/others-15>

特別なことではないということが分かります。子どもを愛する気持ちが、子どもの非認知能力を伸ばすのです。非認知能力の土台は3歳までに作られると言われていますが、10代

後半でも育てることは可能と考えられているそうなので、3歳よりも大きな子どもの場合でも、気付いた時から意識を高めてみると思います。

「非認知能力」だけでなく「認知能力」も大切だということは、忘れずに(^_^)/

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★